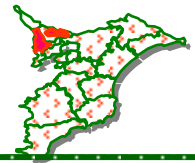


松戸保健所感染症情報

2015年 5月

(2015年5月14日配信)



夏に向けての対策 ～蚊・ダニ対策～

◆主な蚊媒介感染症

- デング熱 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html (厚生労働省)
千葉県デング熱関連情報 <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/dengue.html> (千葉県疾病対策課)
- チングニア熱 <https://www.forth.go.jp/useful/infectious/name/name32.html> (FORTH 厚生労働省検疫所)
- 日本脳炎 http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou20/japanese_encephalitis.html (厚生労働省)
- マラリア <https://www.forth.go.jp/useful/malaria.html> (FORTH 厚生労働省検疫所)
- ウエストナイル熱 http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou18/west_nile_fever.html (厚生労働省)

≪感染症を予防するためには≫

蚊を発生させない	水たまりは蚊の幼虫(ボウフラ)の発生源となりますので身近にできるだけ水たまりを作らないように注意しましょう
室内に蚊を侵入させない	香取り線香や殺虫剤などを利用したり、窓に網戸などをつけたりして、屋内への蚊の侵入を防ぎましょう
蚊に刺されないようにする	蚊に刺されそうな場所では長袖、長ズボンなど肌の露出が少ない服装にしましょう虫よけスプレー、シート、クリームなど、虫よけ効果のある薬剤を使用しましょう。

★日本脳炎の予防にはワクチン接種が有効です。小児への定期接種となっていますので、未接種の場合はかかりつけ医などにお問い合わせください。

◆ダニに刺されないための対策

- マダニ対策 1)マダニの生息場所 2)マダニから身を守る服装 3)マダニから身を守る方法 4)忌避剤の効果 5)参考資料:①マダニの分類とマダニ媒介感染症 ②マダニ媒介SFTSとは ③マダニの生活環境 <http://www.nih.go.jp/niid/ja/sfts/2287-ent/3964-madanitaisaku.html> (国立感染症研究所より)

◇ゴールデンウィーク中の海外旅行から帰って体調が悪くなったら・・・。

◆何か変?—旅行後の健康チェック <http://www.forth.go.jp/useful/attention/28.html> (FORTH 厚生労働省検疫所)

海外旅行から帰ってきて、何らかの体調不良を訴える方は、実に全旅行者の数十パーセントに及ぶと言われています。中でも下痢などの胃腸症状、皮膚の異常、咳、そして発熱がよくみられる症状です。海外旅行後の体調不良には、思わぬ感染症が潜んでいる可能性があります。早めに医療機関を受診しましょう。医療機関を受診にあたっては、症状に加えて情報(旅行先、旅行期間、旅行の目的、旅行中の行動、宿泊先の状況(虫除け対策ができていたか)、旅行前の予防接種等を整理しておき、医師に伝えましょう。情報整理に、次のチェックシートもご参考になさってください。 <http://www.forth.go.jp/useful/attention/pdf/29.pdf>

◇西アフリカのリベリアにおける、エボラ出血熱の終息宣言！(厚生労働省感染症エクスプレス号外 2015年5月11日)

5月9日、世界保健機関(WHO)において、西アフリカのリベリアにおけるエボラ出血熱流行の終息宣言が公表されました。検疫及び国内における今後の対応は、リベリアについては、注意喚起や健康監視等のエボラ出血熱流行国としての対応を取りやめますが、ギニアとシエラレオネについては、引き続き、これまでの対応を継続していく予定です。
<http://www.forth.go.jp/news/2014/09021454.html> (FORTH)
<http://www.who.int/mediacentre/news/statements/2015/liberia-ends-ebola/en/> (WHO ステートメント)

◇千葉県情報

◆感染性胃腸炎に春先も注意

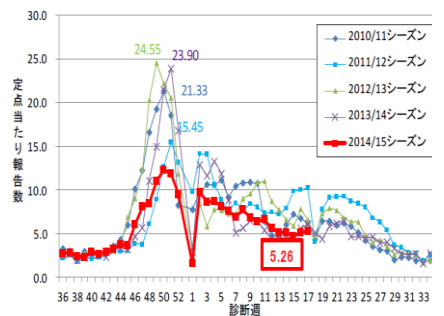
松戸保健所では、2015年4月10件の集団発生事案があり、2014年の0件と比較すると多くみられた。2015年17週の県全体の定点当たり報告数は、16週の5.13から増加し、5.26となった(4/28現在)2015年17週に報告された699例。年齢群別の割合は、2～3歳17.9%、6～7歳17.3%、0～1歳15.3%が多く、5歳以下で47.6%を占めていた。感染性胃腸炎の流行時期は冬ですが、春になっても油断は禁物。施設内感染対策マニュアルの確認、手洗いと消毒の徹底等新年度体制を整えましょう。

◆対象者は風しん抗体検査を無料受けることができます。

千葉県では県が受託した医療機関(病院及び診療所)において、対象者は風疹抗体検査を無料で受けることができます。対象者、検査実施医療機関、検査実施期間はホームページでご確認ください。
⇒ <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/fuushinkoutaikensa.html>

◆インフルエンザ警報解除について <http://www.pref.chiba.lg.jp/shippei/kansenshou/influenza/influ2009.html> (千葉県ホームページ)

千葉県では平成27年1月6日に「インフルエンザ警報」を発令し、感染予防のための衛生対策の徹底を呼び掛けてきました。平成27年第14週(3/30～4/5)に県内保健所管内で終息基準(10)を下回り、全県平均2.28となり、その後も10を超えることがなかったため平成27年4月30日をもってインフルエンザ警報を解除しました。引き続き、栄養と休息を十分に取、帰宅したら手洗い・うがいを徹底していきましょう。



◆感染症発生状況(4月分)・・・全数報告提出分

- 2類感染症 / 結核 12件
- 3類感染症 / 腸管出血性大腸菌感染症 1件
- 4類感染症 / 0件
- 5類感染症 / 件侵襲性肺炎球菌感染症 2件
カルバペネム耐性腸内細菌科最近感染症 1件

◆松戸保健所管内の結核新規登録者数(4月分)

	活動性肺結核		活動性肺外結核	潜在性結核感染症
	喀痰塗抹陽性	菌陰性その他		
松戸市	6	4	0	1
流山市	0	2	0	2
我孫子市	0	0	0	0
計	12		0	3

松戸保健所管内の感染症発生動向（最近5週）

● 管内 ▲ 県全体 警報基準値 終息基準値
 マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は基幹定点のみの集計。RSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎とクラミジア肺炎は警報基準値等の設定なし。

